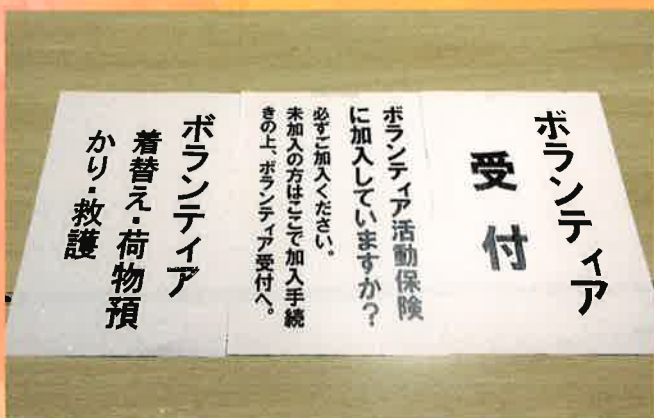


しあわせ

2024年
11月1日発行
No.195



関ヶ原町社会福祉協議会
「災害ボランティアセンター」



災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。

8月25日(日) SVC(災害ボランティアコーディネーター)関ヶ原の会員の皆さんと社会福祉協議会職員による災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行いました。昨年との変更点や、改善点など再確認が必要と思われることが活発に話し合われました。

災害発生時に、災害ボランティアセンターを迅速に設置し、円滑に運営していくために、SVC関ヶ原と社協により毎年設置・運営訓練を行っています。

SVC関ヶ原では随時、会員を募集しています。関心のある方は社協まで。

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ」です



支える人も
支える募金



赤い羽根共同募金

共同募金運動は今年で78回目を迎えました。

今年も10月1日より、全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。

ひとりひとりのやさしさが私たちの町をもっともっとやさしくしていく、共同募金はそんなしくみです。誰もが安心して暮らせるまちづくりや福祉団体の育成、災害時活動支援のための募金活動を展開してまいります。

関ヶ原町では、各自治会を通じて戸別募金のご協力をお願いしております。この他に、地域の商店や事業所等への募金箱設置、法人募金や学校募金など様々な方法で募金活動を実施しております。

みなさまのご理解ご協力をお願いいたします。

令和5年度の赤い羽根共同募金は次の事業に活用させていただきました。



- ふれあいの集い
- 防災備品整備（ヘルメットの購入）
- ふくしフレンドパーク
- 憩いの場づくり
- 社協だよりの発行

スマホからも、募金できます！



共同募金 まちがいさがし

※まちがいは10個あるよ



こたえ ①左上の魚群の数 ②フグの傾き ③右上の魚の体長が違ふ ④中央の魚の黒目の位置 ⑤中央の魚影の数 ⑥女の子の髪型 ⑦スマホの手前の魚の有無 ⑧岩陰の中の何者かの表情 ⑨中央下の珊瑚礁の形 ⑩右下の魚の模様

ボランティアスクール 中学生編 8/6(火)

中学生対象のボランティアスクールを開催しました。

今年は防災について、4名の講師からゲームをとおして防災の知識を教えてもらったり、被災者やボランティアの話聞いて、自分たちの住む地域の防災について考えたりしました。



防災神経衰弱ゲーム



クロスロードゲーム

感想から

防災ゲームを通して、今自分ができることを知ることができました。地名の由来を知るとその場所の特徴が分かり、防災になることがわかりました。

クロスロードを通して究極の選択をするときは、状況や周りの人のことを考えて判断することがわかりました。



能登半島地震被災当事者のお話

感想から

防災ゲームや体験談を聞いて、防災について興味をもつことができたし、今やるべきことなどを教えていただけたので、実践したいと思いました。実際に災害が起きたときは冷静でいられなくなって今日やったことを忘れてしまうかもしれないけれど、自分の命、周りの人の命を守る行動をとっていきたいです。



非常用トイレの使い方

感想から

防災の話聞いて実際に災害が起こったときに一番困ることやその解決策などを知れたので、日常生活に生かしていきたいと思いました。

また、実際の写真を見るとニュースでチラッと見るよりも大変さや怖さなどをより感じられたので、家で家族と話し合ったりして身近な人と一緒に「自助、共助、公助」を大切にしていきたいです。少しずつ完璧でなくとも「備える」ことをいつも覚えておきたいです。

感想から

ボランティアスクールに参加して、実際に話を聞いて、地震直後の心情や避難所での生活の事など、すごくわかりやすく教えてくださって、家族にも広めたいという気持ちになりました。

自分が体験するところを考えると「ちゃんと行動できるかなあ?」「なにも考えられないんじゃないか」と心配になったけど、動画でみせてもらった事やちょっとしたボランティアをしっかりとできるようにしたいと思いました。

感想から

当事者の方やボランティアの方の話を聞いて、水・食べ物・毛布・トイレ・ブルーシートが必要、子供の笑顔・姿で大人が元気になるということがわかりました。



能登半島地震災害ボランティアのお話

さくらんぼ通信

生活介護事業所 さくらんぼの家 TEL43-1525

《保護司会の皆さん、ありがとうございました》

7月3日(水) 不破保護区保護司会関ヶ原部会・更生保護女性会関ヶ原部の皆さん11名で、施設周辺の草刈りをおこなっていただきました。

この日は晴れわたる青空の下、気温もぐんぐん上昇する中での作業となりました。施設西側の駐車場をはじめ、農作物の畑、その周辺、そして藤棚周りの草刈りにご協力いただき、伸びていた草もすっかりなくなり、施設周りもとても綺麗になりました。

暑い中大変お世話になり、ありがとうございました。



《社会学習に行きました》

9月19日(木) 社会学習で関ヶ原ウォーランドに行きました。

今回は久々のお出かけとなり、利用者みなさんは朝からソワソワ。出発時間になり、車に乗ってさあ出発です。

ウォーランドでは「風鈴まつり」と「和傘物語」が催されており、場内入口から通路に沢山の風鈴と色鮮やかな和傘が飾られ、みなさんから「きれいだねー。」と歓声があがりました。

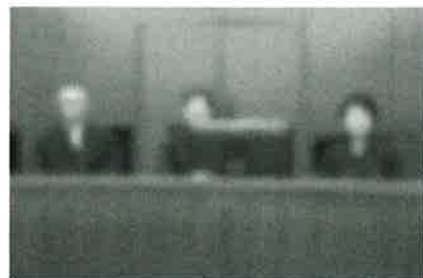
場内では、入口で頂いた願掛け短冊に「願いが叶いますように。」と、それぞれ想いを込めて書いたり、輪投げを楽しんだりしました。

施設内を散策しながら、時折奏でられる風鈴の音に包まれて穏やかで優しい時間を過ごしました。



民生委員・児童委員活動レポート

10月9日に視察研修として、岐阜地方裁判所を訪問しました。裁判所のしくみや民事裁判・刑事裁判といった手続き、裁判員制度、少年審判についてお話を伺いました。みなさん、熱心に話を聞き、質問されていました。また、法服を着用して裁判官・検察官・弁護人の席に座り、実際に法廷の様子を体験することができました。とても貴重な体験となりました。





災害ボランティアコーディネーター関ヶ原 地域の中で活動

災害ボランティアコーディネーター関ヶ原は、「もっと地域の中へ！」という目標のもと、月曜日開催のコミュニティカフェ「憩いの郷 あん」におじゃまし、コーヒーを飲みながら防災について話しています。

「なんの話をしているんだろう、この人たちはどういうことをしているんだろう。」と興味をもっていただけることを期待し、毎月第1月曜日に数名の会員が集まります。

「あん」の利用者さんからはなかなか声をかけていただけていませんが、興味をもって会話に加わってくださることを期待しています。

「あん」の会場で見かけたら気軽にお声掛けしてみてください。



「憩いの郷あん」でハザードマップを広げて

傾聴ボランティア養成講座 開講



早川一枝先生による講座が始まりました

9月10日、傾聴ボランティア養成講座が始まりました。

漫然とお話を聞くのではなく、相手の気持ちに寄り添って聴かせていただくのが傾聴ボランティアです。

講座は9月から10月までの全4回で、受講後はボランティアとして活動してくださることを期待しています。



新しいボランティアグループ「なあにの会」が活動を始めました

今年度よりボランティア連絡協議会に加入している新しいボランティアグループ「なあにの会」が活動を始めています。

このグループは、子育て・孫育てをしている方々に寄り添い、悩みや思いをお聴きしたり、お茶とお菓子でホッとさせる心地よい交流サロンを開催しています。

子育て・孫育ての支援のために、今後、活動を広げていきたい、と代表の川村明美さんはおっしゃっていました。

活動は旧今須小中学校や中央公民館別館などで、月に一度開催しています。開催予定のポスターを役場住民課やふれあいセンター、やすらぎ、社協玄関などに掲示していますので時間などを確認してください。



7月開催の様子

お子さん連れでもよいそうです。
子育てをしていらっしゃる方は一度参加してみてもいいかもしれません。

問い合わせ：社協 ☎ 43-2943

相談日 しあわせ相談センター

- 場所／国保関ヶ原診療所 北棟1階(社協センター)
- 時間／午後1時30分～午後4時
- ご相談は無料

	心配ごと相談 ※人権相談合同開催	弁護士相談 弁護士 吉田和永 ※行政相談合同開催	結婚相談
11月	10日(日)	16日(土)	16日(土)
12月	10日(火)	21日(土)	21日(土)

※都合により日程等を変更する場合がございます。ご了承ください。
※弁護士相談は事前予約が必要です。 ☎43-2943

善意のご寄附

8月10日から10月9日分まで(受付順・敬称略)
匿名……………座布団

一宮紙原料株式会社……………
トイレットロール 100ロール
(なぐらんの家にご寄付いただきました)

岐阜県理容生活衛生同業組合不破支部……………
タオル、古新聞

ありがとうございました。



乳幼児の紙おむつを支給します



子育てしやすい環境づくりに向けて、子育て世帯の生活を応援するため「紙おむつ」を支給します。ご希望の方は、社会福祉協議会までお越しください。

◆対象：関ヶ原町在住の令和4年12月1日以降に生まれた子の親

◆商品：テープタイプ又はパンツタイプ
対象商品については、社協までお問い合わせください。

◆申込み：申込用紙に記入の上、関ヶ原町社協へ提出
令和6年11月28日(木)17時までに

詳しくは、関ヶ原町社協まで
お問い合わせください
(☎ 43-2943)



介護用品(紙おむつ)を支給します

◆該当者／

下記の①～③に該当する在宅の方を対象とします。長期入院者(3カ月以上)、福祉施設入所者は除きます。

- ①要介護認定を受けておられる方
(「要支援」は除く)
- ②身体障害者手帳または療育手帳所持者
- ③その他、本会が必要と認めた方

◆支給日／12月中旬以降
ご希望の方は、自治会の福祉推進員または社協まで。



お米の寄付にご協力をお願いします！

関ヶ原町社会福祉協議会では、お米をご寄付いただける方を募集しています。ご寄付いただいたお米は、岐阜県子ども居場所応援センターへ届け、子ども食堂や子ども学習支援、プレーパークなどの活動に役立てられます。ご寄付いただける方がございましたら、社協までご連絡ください。

お米の種類

- ・一般的に主食として用いる「うるち米」
- ・玄米の状態
- ・収穫3年以内

※岐阜県子ども居場所応援センターは、子どもや子育て家庭が社会的孤立に陥らないよう、相談支援やフードバンク等「子どもの居場所」を総合的にサポートするセンターで岐阜県社会福祉協議会が設置しています。

連絡先／関ヶ原町社会福祉協議会 TEL 43-2943



義援金のご報告

(令和6年10月15日現在)

令和6年
能登半島地震災害義援金
71,442円

令和6年9月
能登半島大雨災害義援金
20,000円

みなさまからお寄せいただきました義援金は、日本赤十字社岐阜県支部へ送金させていただきます。みなさまの善意に心から感謝申し上げます。